

2018年9月10日 最近注目の仕掛学について

※一言要約： 「仕掛け」のアイデアで、楽しく改善しよう。

仕掛学とは、大阪大学の准教授・松村真宏准教授が研究されており、最近、大変話題となっているものです。

誰かの「仕掛け」によって、無意識のうちに「ついしたくなる」ようにするもので、日々の生活の中で、「無意識のうちにそうしていた」「ふと気が向いた」といったことになり、仕掛けた人の目的を達成するものです。大変興味深い手法で、事業・商売に大きな効果を生むものであります。

仕掛学の例を以下に示します。

- ① ファイルの背表紙に斜線を引く。  
⇒このことにより、ずれて収納すると違和感を感じて、きれいに揃えて収納するようになる。
- ② スリッパを置く位置にシールを貼る。  
⇒トイレに「スリッパはきれいに」と貼り紙をしても利用者はスリッパを揃えないが、床に靴跡型のシールを貼るとなんとなくそこに揃えないといけないような気になる。
- ③ 男性用便器の一番飛散が少なくなる位置に「標的となるシール」を貼ってみる。
- ④ パン屋さんがいい匂いを出しながら換気する。  
(焼き立てパンの匂いのする香水も売られているようです。)
- ⑤ 電車車両の座席に、想定人数が座れることを目的として椅子の色を変える。



何となく、納得してしまいますよね。

アイデア次第では、安価でかつ楽しく目的を達成できるのも「仕掛け」の魅力であり、職場の散らかりを改善する(5S)ことに繋がる、などの仕掛けをいろいろ考えてみてはいかがでしょうか？

引用:大阪大学 [http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/storyz/special\\_issue/research\\_topics\\_nl75/201703\\_special\\_issue03](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/storyz/special_issue/research_topics_nl75/201703_special_issue03)